

県老健 平成24年度 第4回看護部会研修会 アンケート集計結果

研 修 日 : 平成 25年 1月 29日 (火)

会 場 : ウィリング横浜 12階
研修室 121・122号室

テ ー マ : 看取りについての取り組み
～老健・特養の視点から～

- ・「老健施設での看取り 終日を施設で迎えた理由」
能見台パートリア 川崎 フヂ子 氏
- ・「看取りについての取り組み」
なぎさ 石井 実千代 氏
- ・「終の棲家 特養の看取り ～その人らしい最期を迎えるために～」
特養 太陽の家 青木 幸代 氏

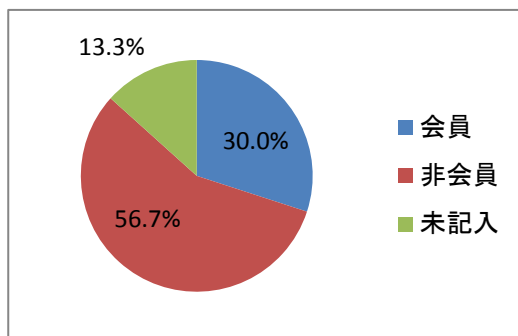
参 加 人 数 : 103 名

集計枚数 90 枚
集計日 平成25年1月30日

☆ 参加者について ☆

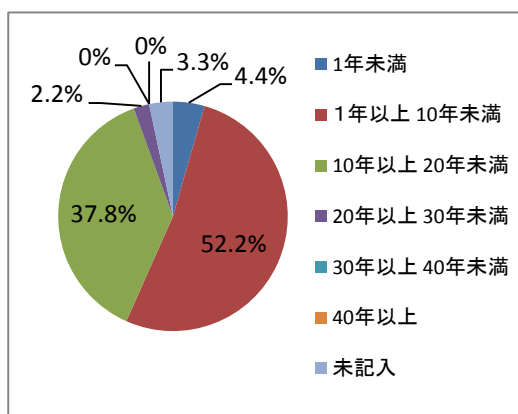
①看護協会入会の有無

会員	27 名	30.0%
非会員	51 名	56.7%
未記入	12 名	13.3%



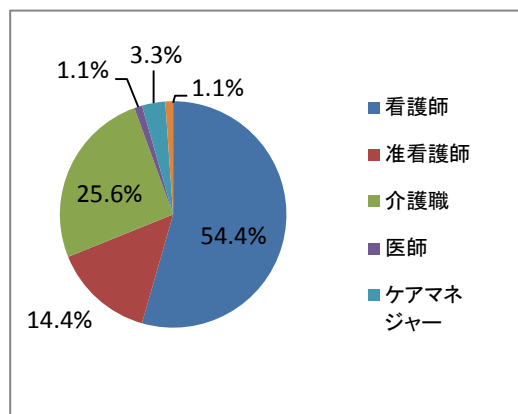
②施設経験年数

1年未満	4 名	4.4%
1年以上 10年未満	47 名	52.2%
10年以上 20年未満	34 名	37.8%
20年以上 30年未満	2 名	2.2%
30年以上 40年未満	0 名	0%
40年以上	0 名	0%
未記入	3 名	3.3%



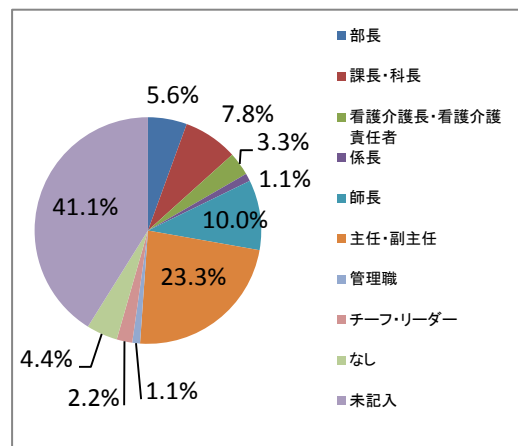
③職種

看護師	49 名	54.4%
准看護師	13 名	14.4%
介護職	23 名	25.6%
医師	1 名	1.1%
ケアマネジャー	3 名	3.3%
相談員	1 名	1.1%



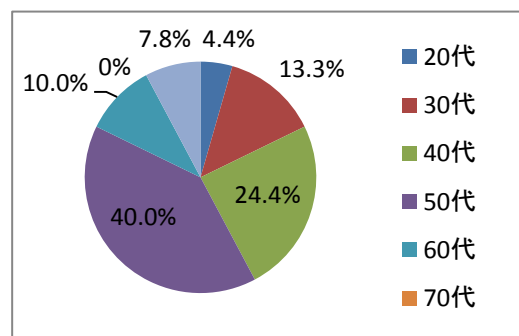
④役職

部長	5 名	5.6%
課長・科長	7 名	7.8%
看護介護長・看護介護責任者	3 名	3.3%
係長	1 名	1.1%
師長	9 名	10.0%
主任・副主任	21 名	23.3%
管理職	1 名	1.1%
チーフ・リーダー	2 名	2.2%
なし	4 名	4.4%
未記入	37 名	41.1%



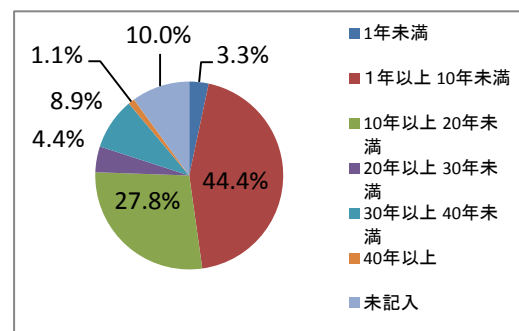
⑤年齢

20代	4名	4.4%
30代	12名	13.3%
40代	22名	24.4%
50代	36名	40.0%
60代	9名	10.0%
70代	0名	0%
未記入	7名	7.8%



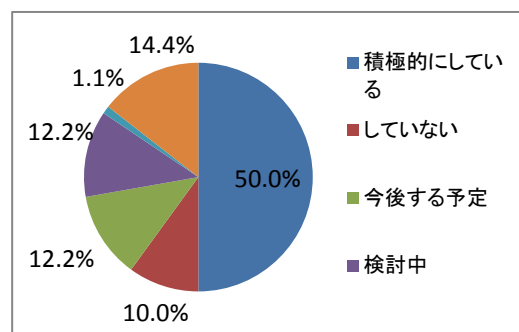
⑥現職での経験年数

1年未満	3名	3.3%
1年以上 10年未満	40名	44.4%
10年以上 20年未満	25名	27.8%
20年以上 30年未満	4名	4.4%
30年以上 40年未満	8名	8.9%
40年以上	1名	1.1%
未記入	9名	10.0%



⑦施設で看取りを

積極的にしている	45名	50.0%
していない	9名	10.0%
今後する予定	11名	12.2%
検討中	11名	12.2%
今後もしない	1名	1.1%
未記入	13名	14.4%



※ 「積極的にしている」には、
「積極的にではないが、している」と答えた 8名を含みます。

※ 「していない」を選んだ方のコメント

- ・ 高齢となり、長期化している利用者は、家族と面談を行なって、看取りをする準備をしている。

※ 「検討中」を選んだ方のコメント

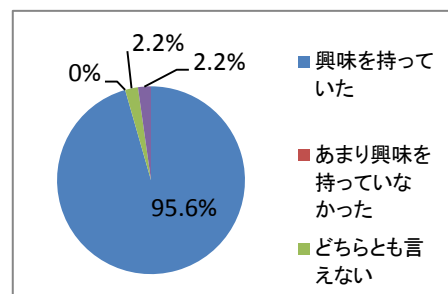
- ・ 施設長が変わる前はしていた。
- ・ 以前はしていたが、現在は検討中である。

※ 未記入の方のコメント

- ・ 少例であるが、している。(開所 3年目です。)
- ・ 始めたばかり。

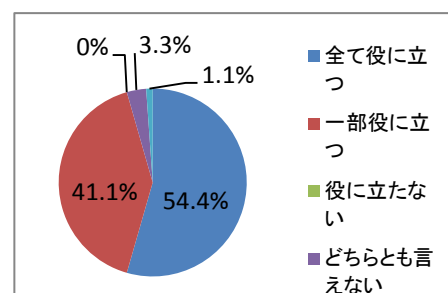
1.研修内容について

① 興味を持っていた	86名	95.6%
② あまり興味を持っていなかった	0名	0%
③ どちらとも言えない	2名	2.2%
④ 未記入	2名	2.2%



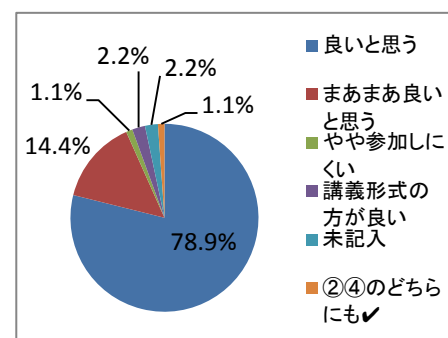
2.実践への応用について

① 全て役に立つ	49名	54.4%
② 一部役に立つ	37名	41.1%
③ 役に立たない	0名	0%
④ どちらとも言えない	3名	3.3%
⑤ 未記入	1名	1.1%



3.シンポジウム形式の研修について

① 良いと思う	71名	78.9%
② まあまあ良いと思う	13名	14.4%
③ やや参加しにくい	1名	1.1%
④ 講義形式の方が良い	2名	2.2%
⑤ 未記入	2名	2.2%
⑥ ②④のどちらにも✓	1名	1.1%



「①良いと思う」と答えた方のコメント

- ・ 講義形式も少し取り入れていただけると、参考になることがあると思います。

「③やや参加しにくい」と答えた方のコメント

- ・ 発表内容により。

4.研修全体を通しての感想（複数回答）

① 内容のレベルが高すぎた	1名	1.1%
② 内容のレベルが低すぎた	1名	1.1%
③ 期待していた内容と違った	9名	10.0%
④ 問題解決の糸口が得られた	30名	33.3%
⑤ 今後の課題や方向性がつかめた	54名	60.0%
⑥ 他の施設と問題の共有ができた	38名	42.2%
⑦ その他	5名	5.6%
⑧ 未記入	2名	2.2%

「⑦その他」と答えた方

- ・どちらかという成功事例で、困難であったことや悩みなどが不明なので、看取りにおける施設や介護上での問題点が見えにくかった。
- ・他の施設の看取りに対する取り組みがわかった。
- ・各施設で抱えている問題は多々あると思うが、看取り・最期について真剣に取り組みたいと感じました。
その人らしさとは…なんだろうか。
- ・実際の事例を通して、様々な方法・関わり方を学べた。
- ・当施設もH18から看取りを始め、100例以上看取っています。独居の方もおられました。
マニュアル・同意書なども得たり、スムーズに流れていますが、家族の心の動きは様々ですが、病院で昇天された家族は、ここで看てもらえば良かったと言っていたようです。
これは、今後の大きな課題です。

5.感想や、今後希望する研修について

◆ 勤務施設で看取りを「積極的にしている」と答えた方

- ・利用者からの声・意志を、もう少し詳しく知りたいです。
- ・勉強になりました。
- ・看取りをどうしているか、ではなく、看取りをするとき、どうしなければならないかを教えてほしかった。
- ・看取りに対するマニュアル作成・詳細・記録等についての勉強会があると良いと思う。
- ・看護職だけでなく介護職も参加でき、他施設での看取りの行ない方など、とても参考になりました。
- ・看取りに深く関わったことがないので、今後の参考になることがありました。
家族とのコミュニケーションが大事だし、家族に後悔が残らないように関わっていきたいと思いました。
本人の苦痛を取るにプラスして“家族の不満ゼロ”というところに、深く考えさせられるキーワードになったかなと感じました。
- ・前向きに看取りを取り組んでいきたいと考えていたが、いろいろ問題があると感じました。
他職種との連携・ケアの共有・施設研修の必要性、家族との関係、難しいと思いました。
- ・介護職員と一緒に参加できて良かった。
- ・良い看取りだけでなく、悪い例も挙げることにより、より良い看取りをできるのではないかと思う。
また、胃瘻に対して、完全否定的な発言があったが、絶対悪ではなく、必要なケースもあると思う。
- ・次年度の看護課の目標に、看取りの充実を図るということが入っているので、参考になりました。
人間の自然体ということも、もう少し日本全体で勉強できればいいのかなと思いました。
- ・他施設の看取りへの取り組みを聞かせていただき、とても参考になりました。
- ・看取りで多床室でも空間を大切にしたいと思うので、当施設でも会議室の利用も考えてもいいのではと思います。
- ・看取りの実際を聞き、大変感動しました。施設職員の思い、感じられます。
- ・大変参考になりました。

- ・ 特養での看取りの取り組み方を、初めて聞くことができました。
自然の看取りを目指している特養の話聞いて、良かったです。
ターミナルケアには他職種との連携が必要だと思います。そして何より、ご家族と関わりを深める。
家族の気持ちが揺れ動くのは当たり前だと思うので、その都度、ご家族とカンファなどをし、気持ちを確かめています。今日は勉強になりました。
- ・ 看取り介護・看護は実践しています(症例は少ないですが)。
退所の際に、正面玄関から、職員・スタッフ・利用者でお見送りされた話は、確かにそうかもしれないと感じました。死を、隠すこともないことであると気付きました。
我が施設では、職員玄関でお見送りしているので、今後変わっていくといいなと思います。
- ・ 家族への(高齢者の先にある死)教育は、どのような内容をしているのか、他の施設の話を聞きたい。
他の施設も同じことで問題発生したりと、共有できて良かった。
- ・ 看取りについてのテーマは、これが正解というものがないと思うので、他の施設の方の現状を聞くことができ、とても参考になりました。
またこのテーマを取り上げてほしいと思います。
事例 + 講義もあると、さらに具体的に・身近に考えられると思いました。
- ・ 当施設でも看取りに取り組んでいるので、とても貴重なお話が聞けました。
自分は介護士ですが、立場が違えど、実践していくために参考になりました。
- ・ 介護士の対応をどのようにすべきか？生活の中に看取りと言いつつ、悩みがありました。
今回のお話を聞いて、“当たり前”と感じられる、家族との関係性を構築していきたいと思います。
- ・ 所属施設からはターミナルについての指導もなく、また管理者等の考えもわからないままターミナルを数名看取ることがありました。
その過程においては、自分自身の考えとは違ったケアがあり、戸惑っておりましたが、今回の研修に参加させて頂いて、方向性を得られたような気がしました。
まだまだこれから時間がかかりますが、“看取り”を充実させるための努力を続けていこうと思います。
これからも同様の研修をして頂き、様々なケースをたくさん伺いたいと思います。
- ・ 質問の内容がシンポジウム発表に入っていることを期待して参加した。
当施設の中ですでに実践しているので、今回の発表の内容から、あまり学ぶことがなかった。
- ・ 質疑応答が活発でおもしろかったです。
この時間をもっと多くしたら、いろいろな視点で問題や方法・学習ができるのではないのでしょうか。

◆ 勤務施設で看取りを「していない」と答えた方

- ・ 老健と特養での温度差、同じ老健でも施設(Dr.やNs)の考え方の温度差、看護と介護の価値観や考え方の温度差など、ソフト面からハード面まで“老健での看取り”には様々な課題や問題があることを今回の研修で考えさせられました。
“老健での看取り”という矛盾を、自身としてもどう考えるかという良い場となりました。
- ・ 老健においても看取りは必要となってきたはいるが、施設長の考え方に大きく左右されていることが現状である。今回の研修会で、どうやってお見送りするのか等々、工夫など知ることができた。
- ・ 介護職の看取りへの不安がとても強い中、必要とされ(社会)、開始しなければならない状況にあるが、導入の方法、不安を自信に変えていくための具体的な方法を知りたい。
- ・ とても参考になりました。シンポジウム形式で良かったと思います。
- ・ 最後の別れで、環境づくりを会議室を使ったり(工夫)発想に、施設でも使えると思いました。
家族の中でも意見が違ったりすることもあり、普段から、本人・家族の話し合いが必要で大変だと感じた。職員の教育が大切と思った。
- ・ 具体的な書式の参考書、ツールなどや職員教育の方法など聞きたい。

◆ 勤務施設で看取りを「今後する予定」と答えた方

- ・再度、このテーマでの勉強会を希望します。
- ・今後の参考になります。
- ・現在抱えている問題の内容であり、とても興味深い内容でした。今後の参考となりました。
- ・進行時間は、予定に沿うように行なってほしい。
質問が多くあったほうが良いとは思いますが、無理に出す必要があるのか。
これから行なおうとする立場では、質問の内容がわからないことがある。
結局は、Dr.の意向で決まるのでは？
パネリストは一つの質問に、すべての施設で話す必要があるのでしょうか？
- ・機会があれば、もう一度、看取り研修してください。
- ・今後、看取りケアを行なっていくにあたり、大変勉強になりました。
振り返りの大切さを学びました。また、日々のケアの大切さを、施設に戻り、話したいと思います。

◆ 勤務施設で看取りを「検討中」と答えた方

- ・当施設も長く入所されて、介護度が上がっている方もいらっしゃいます。
今後、慣れ親しんだ当施設で看取りたいと私は考えていますが、今後、職員と話し合い、カンファレンスを開いて、話し合っていきたいと思います。
- ・他施設の取り組みが聞けたので、現在、看取りをやっていない当施設で、今後どうしていくべきか考える良いきっかけになりました。
まずは、職員との話し合いをし、方向性を見出していけたら…と思いました。
今後も看護と介護の連携につながるような、オープン参加の研修があればありがたいと思います。
- ・当施設でも看取りは検討中ですが、全職員にアンケート調査をしたところ、
「できれば、やりたくない」が多く、「死ぬことへ携わる不安感」「死人を見たことがないので怖い」などのコメントがあり、石飛先生の「平穏死のすすめ」の講演に参加させ、勉強会を重ねているところでは。
- ・年末に一度、看取りを他棟であったが、今後、施設は看取りを行なっていく方向でいるので勉強になりました。
- ・「看取り」とは特別なケアを提供するのではなく、日常生活の延長であることの認識を介護職員に伝えていきたいと思います。
ハード面での問題もありますが、施設内での研修会を積み重ね、施設で看取りを取り組んでいこうと思いました。とても感動しました。
- ・今回、看取りについて三施設の発表を聞いて、大変参考になりました。
当施設でも、昨年二例のターミナルケアを体験しました。
今回、施設長が交代し、現在、看取りは中断していますが、今後、最後は自宅の看取りを含めたくさんの終末期ケアが選択できるように、施設・自宅・有料・グループホーム等、提案したいと思います。
- ・昨年、Dr.(施設長)が変わってから、看取りをしない方向になりました。
長期入所の方や家族が看取りを希望している方を、病院に行ってもらうのはどうかと思いましたが、しなければ、しないのに慣れていってしまうのも現実です。
今日、お話を聞いて、時代に逆行しているなと感じました。
- ・施設長が変わり「看取り」をしないと言っている。そんなDr.の気持ちを変えることができるのか…。
老健なぎささんの発表内容は、自分たちも今まで行ってきた「看取りケア」に似ており、わかりやすかった。事例紹介者の説明も大変わかりやすく、涙もじんわりしました。

◆ 勤務施設で看取りを「今後もしない」と答えた方

- ・当施設では積極的な看取りはしていませんが、家族が望めばという方にさせて頂いております。今日の研修の意見を参考にさせて頂きながら、今後に活かしていきたいと思っております。

◆ 勤務施設で看取りを…の質問に、無回答の方

- ・今回の研修を受けて、～これからの看護の方向性～ 入所者側に立った体勢が整ってきているように感じました。
そのために研修・勉強・セミナーなどの必要性も実感できました。実行に移します。
- ・自分の死生観の確立。
看護・介護の職員が、前向きに看取りに実践していく施設を目指したい。
- ・今回の研修を通じ、事例発表以外の後半部分において、とても役に立った。
(意見をたくさん聞くことができた。)
死生観や心情的部分、心のケア、本人・家族・職員が納得のいくターミナルケアができるようになりたいです。
死後の処置のあとのことまで考えていることが驚いた。葬儀等の形式・出棺など。
グループ討議があっても良かったかな？
充実した時間でした。
- ・他の施設での看取り方法も聞いてみたかった。
- ・他職種との連携、介護職員への不安要素の解消・解決により、生活の場として施設全体の方針がぶれてないと思いました。
三施設、全ての入居者様の終末期は幸せなものだったと感じられました。
- ・とても勉強になりました。まだ看取りをしていませんが、今後役に立てたいと思っております。

◆ 今後希望される研修について

- ・①感染予防について
- ・②トランス方法について
- ・事故対策について